

sangetsu



タテ型ブラインド TV型メカ/T0型メカ

取扱説明書 No.V-190008

初版

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくためによくお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されています。
必ずお客様にお渡しください。

目 次

■ 安全上のご注意	2
■ 製品全体図及び部品名称	4
■ 製品の取付け/取外し方法	5
■ コードクリップの取付け/使用方法	11
■ 操作方法	13
■ ルーバーの調整方法	15
■ メンテナンスシール	17
■ “故障かな”と思ったら	18
■ お手入れ方法	18
■ 梱包材の処理方法	18

安全上のご注意(必ずお守りください)

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために、特に注意していただきことを表示しております。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

●本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

●本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

（） 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。

（） 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意 (取付け前に必ずお読みください)



（） 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
（） 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
（） 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



（） 本製品は屋内用です。屋外へは取付けないでください。
（） 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けないでください。
（） 製品は、水平に取付けてください。



■使用上のご注意(ご使用前に必ずお読みください)



（） お子様をコードで遊ばせないでください。

（） コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。

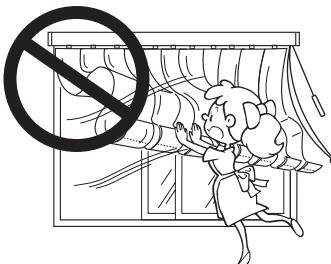
（） 操作しない時は、お子様の手が届かない位置でコードを束ねて、コードクリップで留めてください。

（） 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

（） 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。



（） 強風の時は、必ず窓を閉めるカーリバーを全開の状態にしてください。

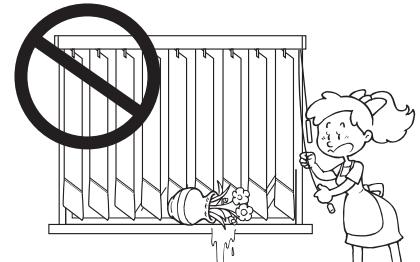


（） メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。

（） 火のそばでのご使用は絶対におやめください。

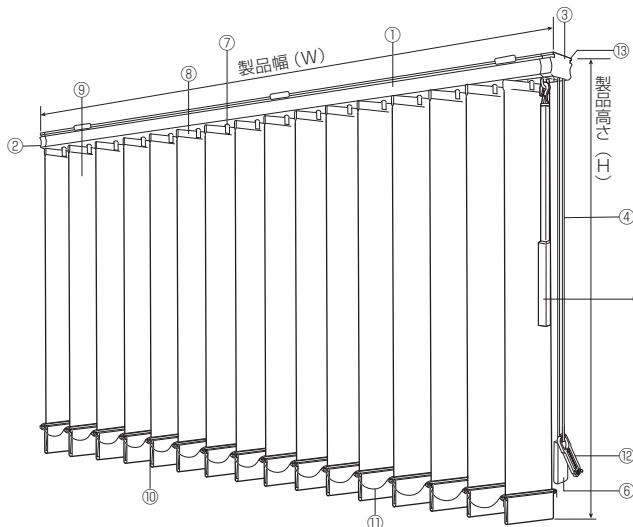


（） 必ずドライブコード、操作ボタンを持って操作を行ってください。ルーバーを持って操作を行わないでください。



（） 開閉動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。

製品全体図及び部品名称

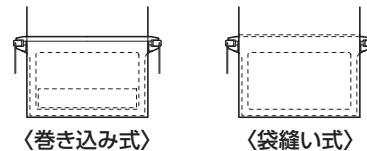


※両側バトンタイプ（オプション仕様）の場合は、操作バトンが製品両側に1本ずつ付きます。

※操作タイプがバトン式の場合、④⑥の部品はありません。

※製品高さは、天井付けブラケットが含まれた寸法となります。

※ルーバー下部のバランススワイト仕様は巻き込み式が標準となっています。



部品名

- ① ヘッドレール
- ② Uターン側サイドカバー
- ③ 操作側サイドカバー
- ④ ドライブコード（外側）
- ⑤ 操作バトン（内側）
- ⑥ テンションスワイト
- ⑦ ランナーフック
- ⑧ ハンガー
- ⑨ ルーバー
- ⑩ バランスマウント
- ⑪ ボトムコード
- ⑫ コードクリップ
- ⑬ メンテナンスシール

■付属品

部品名 （mm）	ブラケット（※1）		コードクリップ（※3）	ボトムコード
	天井付けブラケット	正面付けL金具+付属ネジ		
300~1200	2 個		2 (6) 本	
1210~2400	3 個		3 (9) 本	
2410~4000	4 個		4 (12) 本	
レールジョイント 2010~3000	4 個		4 (12) 本	
レールジョイント 3010~5000	6個		6 (18) 本	

※1 ご指定いただいた製品仕様により、ブラケットの付属内容が異なります。天井付けブラケットが付属され、正面付けの場合は正面付けブラケットセット（天井付けブラケットと正面付けL金具+付属ネジ）が付属されます。取付け方法はP.6「ブラケットの取付け方法」を参照してください。

※2 ()の本数は正面付けの際の入数になります。ネジ類の取付けは、プラスドライバー（No.2）をご使用ください。

※3 操作タイプがバトン式の場合、コードクリップは付属されません。

■製品重量

3.9kg (幅2000mm×高さ2000mmの場合)

※ 製品重量は、ルーバー種類によって多少異なります。

製品の取付け/取外し方法

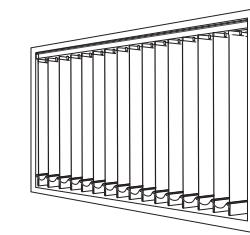


注意

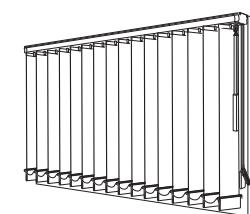
（）付属部品の取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

■取付けの種類

〈天井付けの場合〉



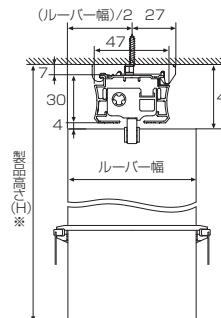
〈正面付けの場合〉



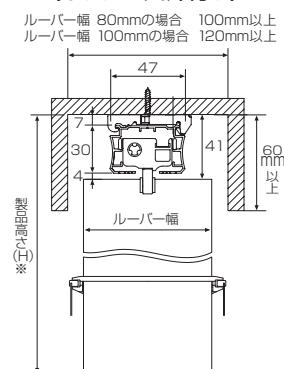
■取付け寸法図（単位:mm）

※ 製品高さ：天井付けブラケットを含むヘッドレール上部からルーバー下部までとなります。

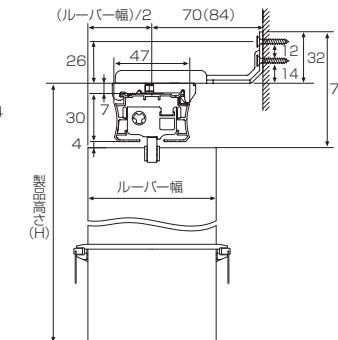
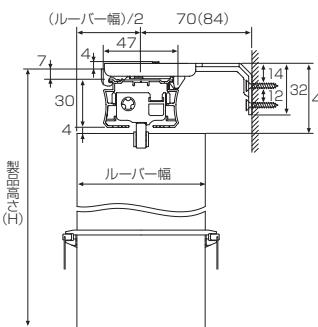
〈天井付け〉
(天井付けブラケット使用)



〈ボックス天井付け〉



〈正面付け〉
(正面付けブラケットセット使用)

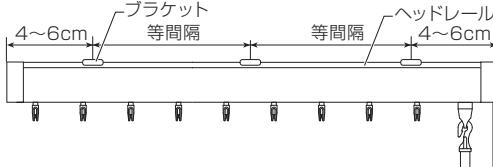


※ ()寸法：出幅は2段階の調整ができます。

■ ブラケットの取付け位置

- ブラケットの取付け位置はヘッドレールの端部から4~6cm内側で、樹脂部品を避けて取付けてください。ブラケットを3個以上使用する場合は、等間隔になるように取付けてください。

※ ヘッドレールジョイント仕様の場合は、ジョイントをはさむようにブラケットを2個取付けてください。



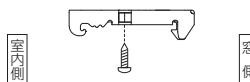
!**注意**

- ブラケットの取付け位置により、故障の原因となる場合があります。

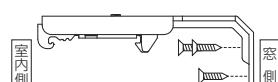
■ ブラケットの取付け方法

- P.5「取付け寸法図」の図を参考にして付属の取付けネジ($\phi 3.5 \times 20$)でブラケットを取付けてください。

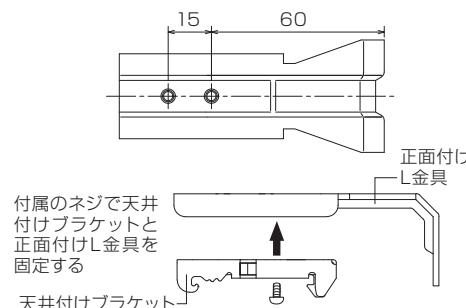
〈天井付けブラケット〉
(ブラケット1個に対して取付けネジ1本必要)



〈正面付けブラケットセット〉
(ブラケット1個に対して取付けネジ3本必要)



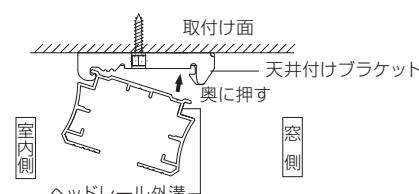
※正面付けの場合は、天井付けブラケットと正面付けL金具を組み合わせてご使用ください。天井付けブラケットを取り付ける穴は2つあり、使用する穴を変えることで壁面からの出幅調整ができます。



■ ヘッドレールの取付け方法

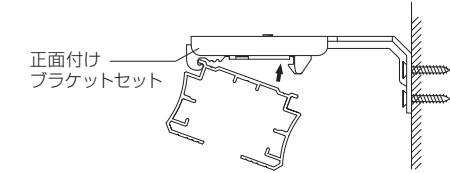
〈天井付けブラケットを使用する場合〉

- ① ヘッドレールをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。
- ② 本体を奥に「カチッ」と押し込んでください。



〈正面付けブラケットセットを使用する場合〉

- ① ヘッドレールをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。
- ② 本体を奥に「カチッ」と押し込んでください。



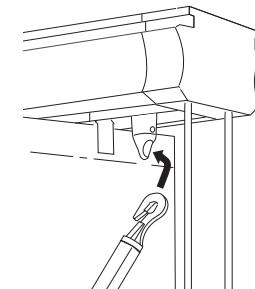
!**注意**

- ヘッドレール取付け後、確実にヘッドレールがブラケットに固定されていることをご確認ください。

■ 操作バトンの取付け方法

- ヘッドレール側のリング部に、操作バトンのフックを引っ掛けてください。

※取付け高さ4010mm以上では、操作バトンはジョイント仕様となります。グリップの付いていないバトンをヘッドレール側へ取付けた後、グリップの付いたバトンを引っ掛けでジョインしてください。



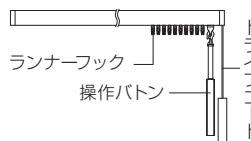
■ ルーバーの取付け方法

- ① ドライブコードを下へ引き、ランナーフックを片側に寄せてください。両開き仕様の場合は両側に寄せてください。

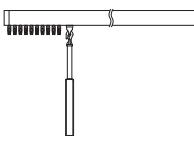
※左操作の場合は反対の関係になり、イラストの向きは逆になります。

※製品取付け高さが3010mm以上の場合、操作バトンの位置は操作側に固定となります。

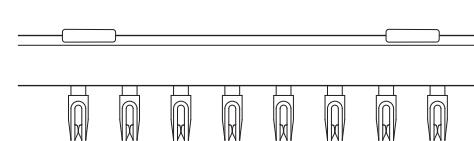
〈例：右操作右寄せ〉



〈例：右操作左寄せ〉



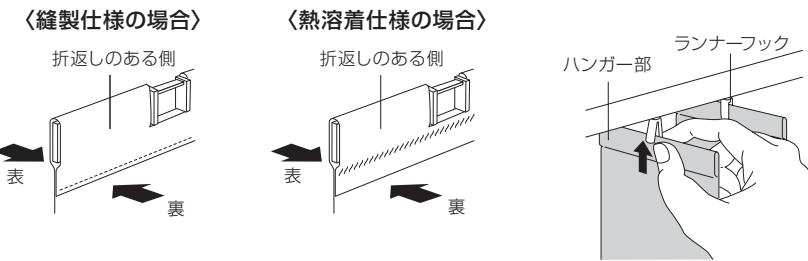
〈例：両開き右操作〉



- ② 操作バトンを回してランナーフックをヘッドレールと直角の状態にしてください。

※ランナーフックが直角の状態でルーバーの取付けを行わないとルーバーが正常に回転しない場合があります。

- ③ ルーバーの表裏を一定方向に揃え、ハンガーパートをランナーフックに下から差し込んでください。
 ※ ルーバーの表裏が不揃いの場合は、ルーバーを一旦取外して再度取付けてください。取外し方法は、P.9の「ルーバーの取外し方法」の手順に従って行ってください。
 ※ ルーバーが防炎物品の場合は、ルーバー上部に防炎ラベルが縫製または貼付されているルーバーが1枚あります。防炎ラベルが視認しやすい位置にルーバーを取付けてください。



注意 (Attention)

手でランナーフックの角度調整は行わないでください。破損する恐れがあります。

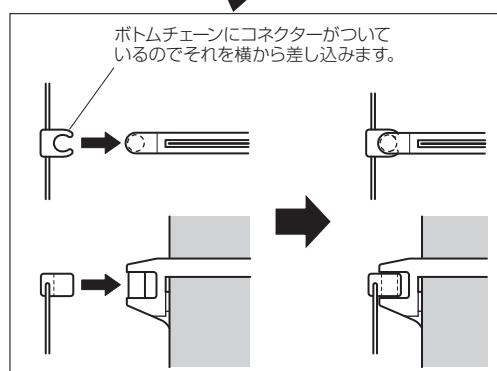
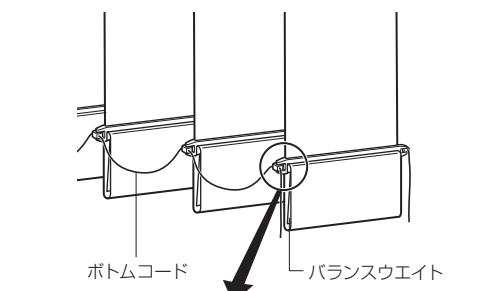
■ボトムコードの取付け/取外し方法 (Bottom Cord Installation/Removal Method)

〈取付け方法〉 (Installation Method)

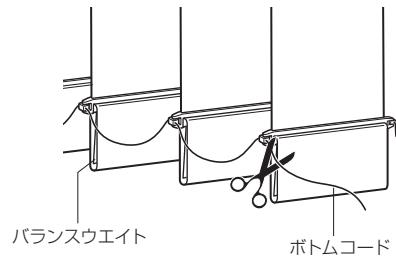
- ① 操作バットンを回転させ、ルーバーをヘッドレールに対し直角になるよう調整してください。各バランスウェイトの両側にある突起にボトムコードのコネクターを横から差し込んでください。

※ 取付けは必ず一番端のバランスウェイト及びボトムコードから始めてください。

※ ボトムコードがねじれないように注意してください。



- ② 全てのバランスウェイトの両端にボトムコードを掛けましたら、両端の余ったコードを切ってください。



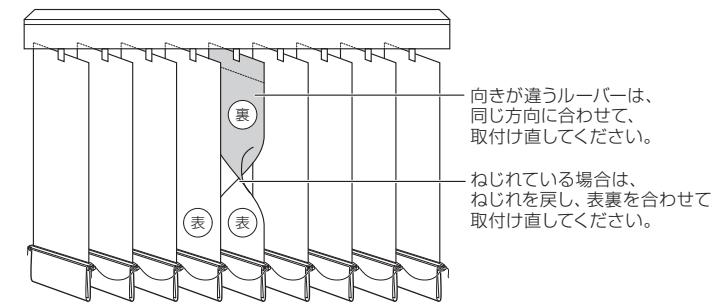
〈取外し方法〉 (Removal Method)

- 操作バットンを回転させ、ルーバーをヘッドレールに対し直角になるよう調整してください。各バランスウェイトの両側にある突起からボトムコードのコネクターを横方向へ抜き取ってください。

■ ルーバー取付け後の確認 (Check after Louver Installation)

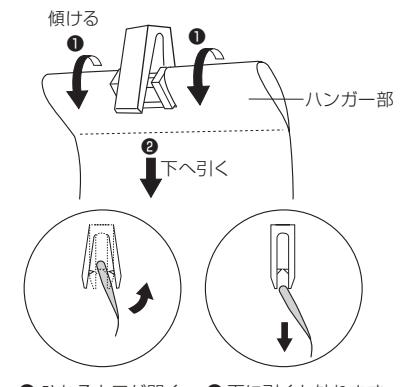
- ① 操作バットンを回して、ルーバーが正常に回転するか確認してください。

- ② ルーバーが正常に回転しない場合、下図のような状態が考えられます。P.7「ルーバーの取付け方法」に従って、ルーバーを正しく取付け直してください。



■ ルーバーの取外し方法 (Louver Removal Method)

- ① ハンガーパートをやや傾けてください
 ② 真下に引いてルーバーを取り外してください。



① ひねると口が開く ② 下に引くと外れます

■ ヘッドレールの取外し方法

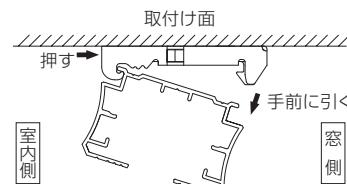


注意

- !
● プラケットからヘッドレールを取外す際は、必ず手でヘッドレールを支えながら作業してください。

〈天井付けブラケットの場合〉

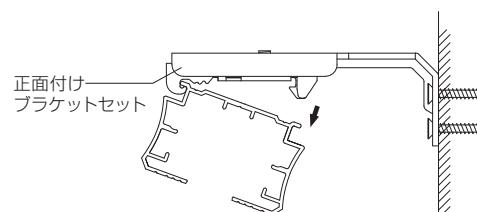
- ① ブラケットの解除ボタンを押しながらヘッドレールを手前に引いてください。



- ② 本体を仮止めフックから外してください。

〈正面付けブラケットセットの場合〉

- 上記①②に従ってヘッドレールを取外してください。



コードクリップの取付け/使用方法

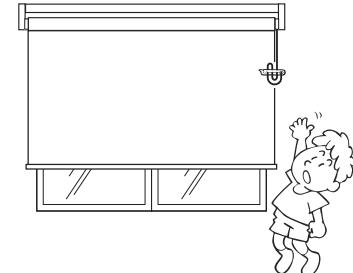


注意

- !
● 弊社のドライブコード以外のものを掛けないでください。
● お子様をドライブコードで遊ばせないでください。首や体に巻き付く等して思わぬ事故を招く恐れがあります。

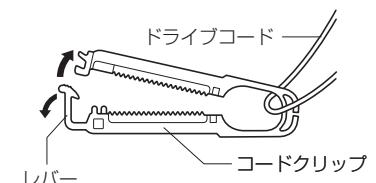
- このコードクリップは、ドライブコードがお子様の首や体に巻きつかないように、危険を回避する為の補助部品です。すべての使用下において安全を保障するものではありません。

- お子様の手が届かない位置でドライブコードを束ねて、コードクリップで留めてください。

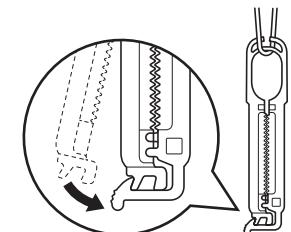


■ 取付け方法

- ① コードクリップ先端のレバーを広げ、ロックを解除し、コードクリップ本体を開いて、製品のドライブコードをコードクリップに通してください。

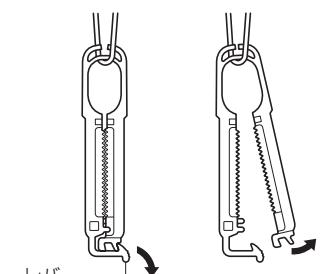


- ② コードクリップへドライブコードを通したら、コードクリップ先端を閉じ、ロックをかけてください。



■ 使用方法

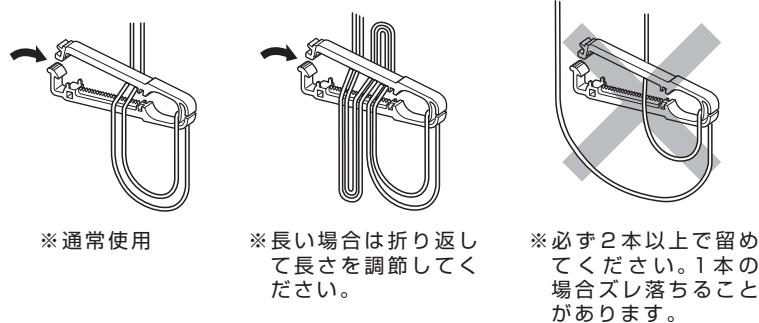
- ① コードクリップ先端のレバーを広げ、ロックを解除し、コードクリップ本体を開いてください。



注意

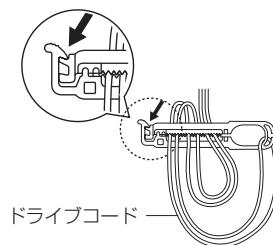
- !
● コードクリップを無理に広げないでください。破損の原因になります。
● コードクリップの間に指やルーバーなどを持まないように、ご注意ください。

② コードクリップを持ち上げ、開いた中にドライブコードを通してください。



③ 開いているコードクリップを閉じて、ロックをかけてください。

※ロックは2段式になっております。ドライブコードの太さに合わせて留まる方でロックをかけてください。



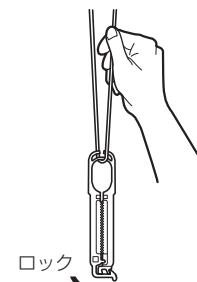
注意

- ドライブコードは一列になるように挟んでください。重なった状態で挟むとズレ落ちる場合があります。

④ 製品を操作する際は、コードクリップ先端のレバーを広げ、ロックを解除し、ドライブコードを降ろし、コードクリップのロックをかけてから製品を操作してください。

注意

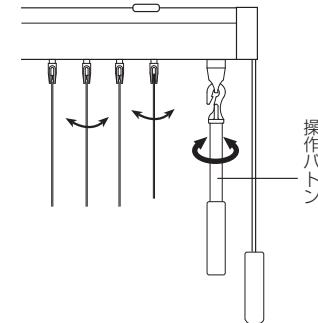
- コードクリップのロックを外したまま製品を操作すると、ドライブコードからコードクリップが外れ、落下する場合がありますので必ずロックしてから操作してください。



操作方法

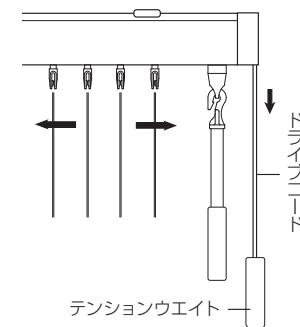
■ ルーバーの角度調整(回転)

- 操作バトンを回転させて調整してください。
- ※ルーバーが閉じると回転操作が重くなります。無理に回転させると故障の原因となりますのでおやめください。
- ※ルーバーを回転させた際、角度の不揃いが出た場合は、逆方向に反転させてルーバーの向きを揃えてから、好みの角度に調整してください。
- ※故障の原因となりますので、手で直接ルーバーを回転せず、必ず操作バトンで回転させてください。



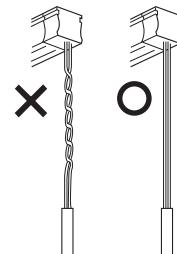
■ ルーバーの開閉(ドライブコード操作)

- 操作バトンを回転させ、ルーバーをヘッドレールに対し直角に調整してください。
- ドライブコードを下方向へ引き、止めたい位置で手を離してください。
- 故障の原因となりますので、テンションウェイトは垂れ下がった状態で開閉操作をしてください。
- 操作タイプがバトン式の場合はドライブコードによる操作は行えません。



注意

- 故障の原因になりますので、ルーバーの開閉操作は必ずルーバーがヘッドレールに対して直角の状態で行ってください。
- ドライブコードはゆっくりと引いてください。ドライブコードを強い力で引くと、ルーバーが勢いよく動いたため、ルーバーにバラつきが生じ、キレイにたたみ込めなくなります。また、操作バトンがスライドする時には振れが発生し、窓ガラスや壁を傷つける場合がありますのでご注意ください。
- 寄せたルーバーを閉じる際は、ゆっくりとドライブコードを引いてください。勢いよく操作するとルーバーのゆれが大きくなり、閉じる方向と逆側の操作バトンが引っ張られ隙間が開く場合があります。開いた場合は、動いた操作バトンで隙間を閉じてください。
- ドライブコードがよじれた状態で操作をくり返し行うと故障の原因となります。ドライブコードのよじれをとった状態にして、操作を行ってください。
- ドライブコードは、操作できる範囲がありますので、操作範囲以上に無理に引くと故障の原因になります。
- ルーバーを手で開閉する操作は行わないでください。故障や破損する恐れがあります。



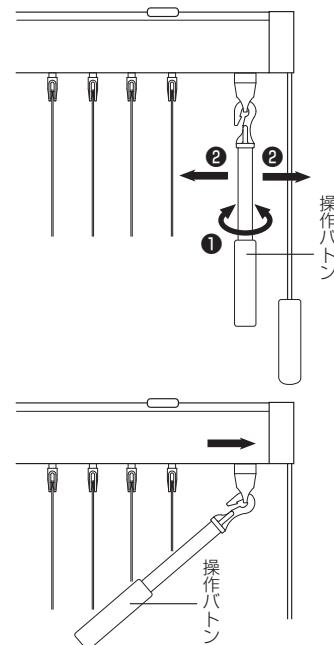
■ ルーバーの開閉(バトン操作)

※ 製品取付け高さが3010mm以上の場合、操作バトンでのルーバーの開閉は行えません。

① 操作バトンを回転させ、ルーバーをヘッドレールに対し直角に調整してください。

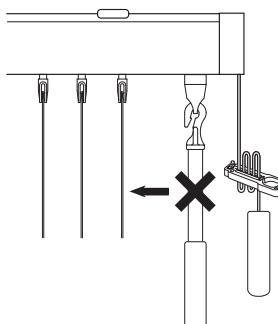
② 操作バトンをスライドさせ、止めたい位置で手を離してください。

③両端を閉めきるところでは、操作バトンが反らうない状態で操作バトンの根元を端に押し込んでください。



注意

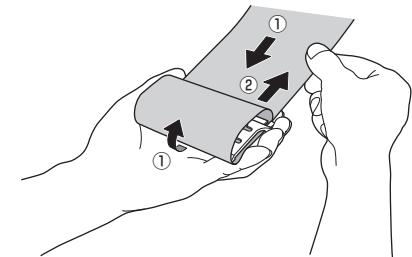
- ! 故障の原因になりますので、ルーバーの開閉操作は必ずルーバーがヘッドレールに対して直角の状態で行ってください。
- ! 故障の原因になりますので、操作バトンはゆっくりとスライドさせてください。また操作バトンを強い力でスライドすると、ルーバーが勢いよく動くため、ルーバーにバラつきが生じ、キレイにたたみ込めなくなります。
- ! 寄せたルーバーを閉じる際は、ゆっくりと操作バトンをスライドさせてください。勢いよくスライドするとルーバーのゆれが大きくなり、閉じる方向と逆側の操作バトンが引っ張られ隙間が開く場合があります。開いた場合は、動いた操作バトンで隙間を閉じてください。
- ! コードクリップ(P.11を参照ください)でドライブコードを束ねた状態で、操作バトンによる開閉操作を行わないでください。バトン操作に運動しドライブコードが動くため故障の原因となります。
- ! 操作バトンは、窓ガラスに強く当たらないように扱ってください。ガラスの破損や思わぬ事故につながる場合がありますのでご注意ください。



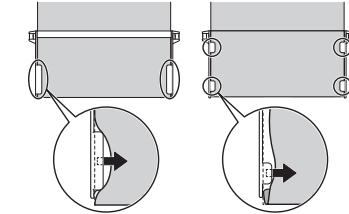
■ ルーバーの調整方法(巻き込み式の場合)

■ ルーバーの丈詰め方法

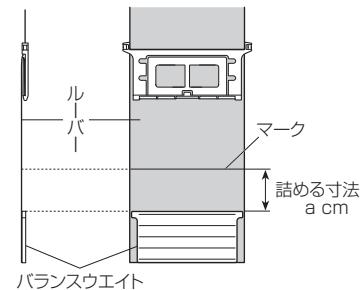
- ① バランスクエイトを抜き取ってください。
ウェイトカバーを持ちながら、ルーバーをたるませ(①)、ウェイトカバーからバランスクエイトを抜き取ってください(②)。



※ ルーバーの種類によっては、ウェイトカバーがルーバー端部を抑えている突起(表2ヶ所、裏4ヶ所)がある仕様の場合があります。その場合は突起(表2ヶ所、裏4ヶ所)からルーバーを外してください。

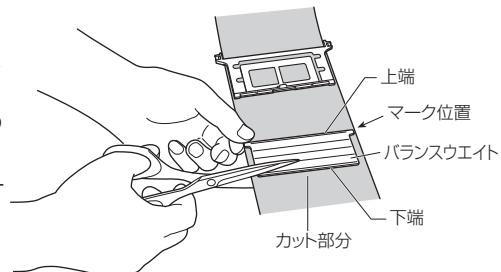


- ② 丈詰めする寸法をバランスクエイトの上端からスケール(メジャー)で計り、マークを入れてください。



- ③ ルーバーをカットしてください。

ルーバーからバランスクエイトをはがしてください。
マークとバランスクエイトの上端が合うように、バランスクエイトを貼り直してください。
バランスクエイトの下端に合わせて、ルーバーをカットしてください。

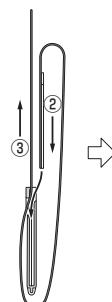
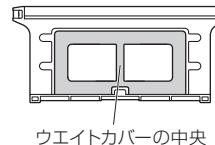
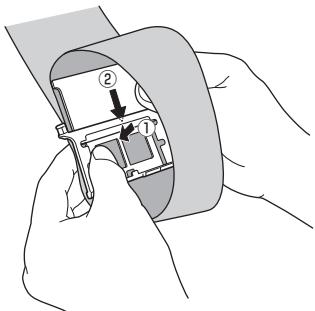


■ 注意

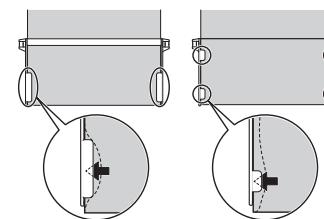
- ! バランスクエイトが落下しないようにご注意ください。床をキズ付ける恐れがあります。

④ バランスクエイトをウエイトカバーに差し込み、最初の状態に戻します。

ウエイトカバーの中央を少し奥に押しながら(①)、ルーバー端部を、ウエイトカバー上部スリットから差し込んでください(②)。ルーバーを引っ張り、たるみを取りてください(③)。



※ ルーバーの種類によっては、ウエイトカバーがルーバー端部を抑えている突起(表2ヶ所、裏4ヶ所)がある仕様の場合があります。その場合はルーバーを引っ張り、たるみを取りながらルーバー端部を、ウエイトカバー両サイドにある突起(表2ヶ所、裏4ヶ所)に差し込んでください。

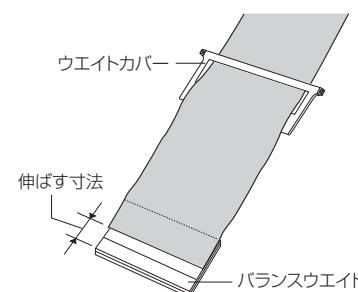
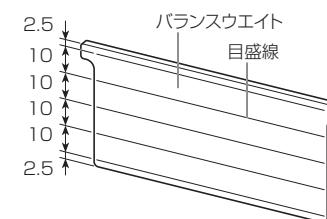


■ ルーバーの丈伸ばし方法

① P.15「ルーバーの丈詰め方法」①に従って、バランスクエイトを取り出し、ルーバーからバランスクエイトをはがしてください。

② 伸ばしたい寸法を目盛線で確認し、バランスクエイトに両面テープを貼り付けて、ルーバーに固定してください。

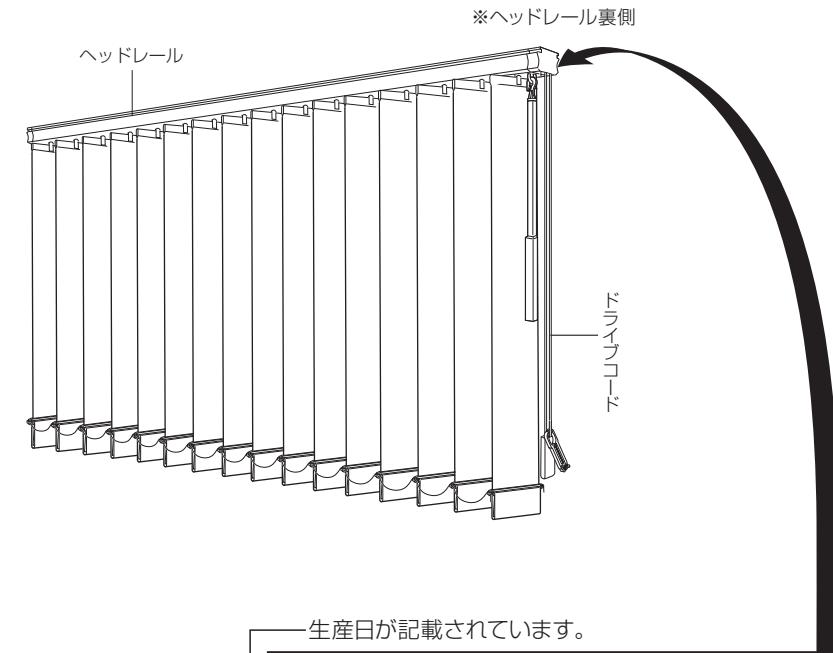
※ 最大約3cm、丈伸ばしできます。



③ P.16「ルーバーの丈詰め方法」④に従って、ウエイトカバーに挿入してください。

メンテナンスシール

● お買い上げの製品には、ヘッドレール裏側に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



生産日が記載されています。

■ 生産日：**年**月**日
■ 品名：サンゲツ VB***
VB-**** 2000×2000
■ 受注No: ***** Made in Japan

製品仕様が記載されています。

サンゲツVB*** VB-**** 2000×2000
機種名 色柄品番 製品幅 製品高さ

“故障かな”と思ったら

■こんなとき

現象	原因	処置
●ルーバーの長さが それぞれ異なる。	●洗濯後のルーバー取 付けや経時の変化で ルーバーの長さに差 が生じたと思われま す。	●P.15『ルーバーの調整方法』をご覧く ださい。 ※袋縫い式は調整できません。

お手入れ方法

- 日頃のお手入れは、ハタキやきれいなハンドモップ等でほこりを落としてください。
- ルーバーの汚れは、水を十分絞ったきれいな布で軽く拭きとってください。(水であっても、ルー
バーは一度濡れると多少変色する場合がありますのでお取扱いには十分ご注意ください。)

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。